

※全体研究は行っており、研修部が中心となって教職員研修の推進を行っている。

運営委員氏名(教頭 根岸 晶)

| | |
|--------------------------|---|
| 校内研修テーマ | 「児童生徒が学びに意欲的になる授業づくりの在り方」 ～主体的・対話的で深い学びの授業実践を通して～ |
| 校内研修の 努力事項 | (1) 一人一人の児童生徒の教育的ニーズに応じた教育実践の充実 (2) 特別支援学校教員としての資質向上 |
| 研修内容・方法 | <p><テーマ設定の背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・同一テーマを設定した研修の在り方の検証(今年からの初取組) ・学習指導要領改訂の趣旨や理念を再確認した授業づくり ・知的障害のある児童生徒が意欲的に学習に取り組むことができる授業づくり ＝「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善 <p><研修内容></p> <p>1) 全体研修会</p> <p>○教職員としての研修の意義について ○学習指導要領改訂の趣旨や理念について</p> <p>2) 各学部における授業実践・検証</p> <p>○共通のワークシートを活用した授業づくり</p> <p>ステップ1：各教科等の年間指導計画から単元(題材)、目標、内容を確認する。</p> <p>ステップ2：実態や学習履歴を基に指導する段階や内容をチェックし、指導内容を決定する。</p> <p>ステップ3：児童生徒の指導目標を設定する。</p> <p>※シートでは抽出児童生徒に絞り検証する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抽出児童生徒の各教科等に対する実態 ・学習を通して身に付けさせたい力 ・学習後の変容のイメージ(達成が望める具体的な姿) <p>○授業実践 ○検証</p> |
| 研修の概要 ・研修経過 ・研修成果等 | <p>令和5年度より、教員が講師となって年間を通して研修会を行い、授業づくりや実践に生かせるようにしてきた。その結果、「実践に役立つ内容で大変勉強になった。」「自分の学びたいことを学ぶことができた。」などの声が多く寄せられた。しかし、一方で「授業力向上のために新学習指導要領に対応した授業づくりの研修をしていきたい。」「授業について教員同士で語り合い、学び合う研修をしていきたい。」という声も多数上がった。そのため、若手からベテランまで多くの教員を巻き込み、基本に立ち返った授業づくりに向けた授業実践に主軸を置いた研修をしていくこととなった。</p> <p>今年度は、全学級が授業を実践し、学年又は学年部で事後検討会を行うこととした。授業に向けては、研修日の中で授業づくりのワークシートを作成し、教員同士で授業づくりに向き合う時間を確保できるようにした。実際にワークシートの作成に取り組んだ教員からは、「業務に追われTT同士で授業や児童生徒について語り合う時間が取れなかったが、研修として取り組む中で授業づくりの楽しさを思い出すことができた。」との声が上がられた。事後検討会では、授業参観の視点をまとめた振り返りシートを持ち寄り、意見交換を行った。授業実践を終えた教員からは、「児童生徒の実態に合わせて新しい授業のアイデアを出し合うことができた。」「これまで意識していなかったことにも疑問を持ったり、支援の仕方を考えたりすることができた。」「授業実践で行ったことを継続し、日々の生活に取り入れることができた。」といった声が挙げられた。</p> <p>課題としては全学級が授業を実践したものの、授業を見合う時間を十分に確保できなかったことが挙げられる。本校は研修という形で授業力の向上に取り組んでいる。今回全員が研修のテーマを意識して授業づくりに取り組んだことは有意義であった。今後も、全教員で取り組むことができる研修を進めていきたい。</p> |